

- 問1 18世紀後半、市民が中心となって社会変革を目指した市民革命が起こったヨーロッパの国はどこですか？
- 問2 江戸時代、幕府が鎖国政策の下でオランダや中国との貿易を独占的に管理した場所はどこ？
- 問3 豊臣秀吉が朝鮮に対して行い、その結果として日朝間の国交が一時断絶することとなった大規模な軍事行動を何という？
- 問4 江戸時代初期、幕府の許可を受けた船が東南アジア各地へ渡航して行われた貿易を何という？
- 問5 江戸時代、貿易の管理や依物の輸出入を取り扱った長崎にある役所を何という？
- 問6 江戸時代に発行された、日本で初めての本格的な西洋医学の翻訳書を出版した年は何年？
- 問7 江戸時代、5代将軍として儒学を厚く奨励し、武力による政治から道徳や学問を重視する政治へ転換した人物は誰？
- 問8 鎖国体制を維持するため、1825年に幕府が外国船を退去させるために出した命令を何という？
- 問9 江戸時代後期に三十五年以上の歳月をかけて、古事記の注釈書を完成させた国学者は誰？
- 問10 江戸時代、諸藩が年貢米や特産物を売りさばくために、大坂などの主要都市に置いた拠点は何という？
- 問11 アユタヤの日本人町で活躍し、現地の王室とも深い関係を築いたことで知られる日本人は誰？
- 問12 朱印船貿易の時代、東南アジアのタイに形成された日本人居住地を何という？
- 問13 参勤交代を制度化したのは、江戸幕府の何代将軍？
- 問14 松尾芭蕉が、旅の体験を俳句と散文で綴った代表的な文学作品は何ですか？
- 問15 十返舎一九が江戸時代後期に著した、笑いを誘う内容の文学作品のジャンルを何という？
- 問16 朝鮮通信使が日本へ向かう際、最初に到着し、そこから瀬戸内海や五街道を経て江戸へと向かった島を何という？
- 問17 江戸時代中期、幕府の財政再建を目指し、商人を積極的に保護・活用する政策を進めた老中の名前は？
- 問18 1776年に北アメリカで発表された、イギリス本国に対する独立の意志を表明した地域を何という？
- 問19 江戸時代、農具の改良や肥料の普及により高まった、単位面積あたりの収穫量を指す言葉は何という？

答え合わせ・解説

問1	答え フランス	1789年に始まったフランス革命は、市民が自由・平等・博愛を掲げて王政を倒した出来事です。この革命では、人権宣言が採択され、民主主義の根幹となる考え方が示されました。
問2	答え 長崎	長崎は奉行が置かれた幕府の直轄地となり、限られた国（オランダ・中国など）のみに貿易を許される場所となりました。ここで外国との交流や情報の収集が行われ、日本にとって唯一の「世界との窓口」として機能しました。
問3	答え 朝鮮侵略	その過程で朝鮮に対して明への道を譲るよう要求しましたが、拒否されたため大軍を送りました。これが二度にわたる朝鮮侵略です。この戦いで朝鮮は甚大な被害を受け、日本と朝鮮の間の国交は完全に途絶えることとなりました。
問4	答え 朱印船貿易	朱印船貿易は、幕府から許可を受けた商人たちが、タイ（当時のシャム）やベトナム、ルソンなどの東南アジア諸国へ渡り、日本からは銀や銅を輸出し、生糸や薬品などを輸入する交易です。日本人の活動範囲が広く、多くの商人が東南アジアに定住しました。
問5	答え 長崎会所	長崎会所は、長崎における貿易事務や、俵物などの輸出入を一元的に管理する役所です。海外からの輸入品の価格を調整し、貿易に伴う利益を幕府の財源として確保する役割を担いました。特に清との貿易では、ここを通じて俵物が組織的に輸出されました。
問6	答え 1774	杉田玄白や前野良沢らが、オランダの医学書『ターヘル・アナトミア』を苦勞の末に翻訳し、1774年に『解体新書』として出版しました。人体の構造を正確に記述した挿絵は、当時の日本の医学界に衝撃を与えました。
問7	答え 徳川綱吉	綱吉は自ら儒学を学び、幕府の公的な学問として朱子学を積極的に取り入れました。これにより、社会全体の秩序を守るための道徳教育が重視されるようになりました。また、生類憐みの令を出したことで有名ですが、学問の奨励もその統治の大きな柱でした。
問8	答え 異国船打払令	幕府は防衛を強化し、近づいてくる外国船を無条件で攻撃して追い払う「異国船打払令（無二念打払令）」を1825年に発令しました。しかし、この強硬な姿勢はのちに海外から強い反発を招くことになります。
問9	答え 本居宣長	本居宣長は、三重県の松阪を中心に活動し、三十五年以上の歳月をかけて『古事記伝』を著しました。彼は古事記を読み解くことで、日本人の心のあり方や古来の知恵を明らかにしようとししました。
問10	答え 蔵屋敷	大坂には諸藩が「蔵屋敷」という拠点を設けました。ここには年貢米や領内の特産物を保管する倉庫のほか、それらを販売・換金するための役所や取引所が備わっていました。大坂の商人はここを拠点に各地の藩と取引を行い、全国の物流ネットワークを構築しました。
問11	答え 山田長政	山田長政は、アユタヤに渡って貿易で成功し、現地の王室の信頼を得て軍事的な地位まで昇りました。当時の日本人町のリーダーとして、外交や軍事で重要な役割を果たしました。
問12	答え アユタヤ	当時のアユタヤ王朝の都には、数百人から千人規模の日本人が集まる居住地「日本町」が形成されました。ここでは日本人が商売を行い、地元の王室や貿易と深く関わりました。山田長政などがこの地で活躍したことは有名です。
問13	答え 3代将軍	3代将軍である徳川家光は、大名に1年おきに江戸と領地を往復させる参勤交代を制度化しました。これにより、大名は多額の交通・滞在費を負担することとなり、軍事的な反乱の余裕がなくなりました。また、妻子を江戸に住まわせることで、実質的な人質としても機能させました。
問14	答え 『おくのほそ道』	松尾芭蕉は各地を旅しながら、優れた俳句と美しい散文を組み合わせた紀行文学『おくのほそ道』を執筆しました。それまでの遊びの要素が強かった俳諧を、精神性の高い芸術的な文学へと高めた点に大きな特徴があります。
問15	答え 滑稽本	滑稽本は、登場人物の滑稽な言動や失敗談を描くことで、読者に笑いを提供する小説です。十返舎一九の作品をはじめ、当時の旅の様子や江戸の町人の生活が面白おかしく綴られています。挿絵とともに読まれることが多く、庶民の教養と楽しみの両面を担っていました。
問16	答え 対馬	朝鮮通信使は長旅の途中で、対馬を経由して日本の文化に触れました。対馬には通信使を接待するための施設が整っており、両国の使節団の間で活発な意見交換や交流が行われました。ここを拠点として、通信使は本州の各街道を進み、江戸へと向かったのです。
問17	答え 田沼意次	老中となった田沼意次は、従来の農本主義的な考えから転換し、商業による経済活性化を目指しました。商人に特権を与える代わりに税金を徴収する政策を進め、幕府の収入を安定させようとししました。また、対外貿易も積極的に奨励しました。
問18	答え 13植民地	13植民地とは、アメリカ東海岸に建設されたマサチューセッツやペンシルベニアなど13の地域を指します。イギリスが課す重税に反対した植民地住民は、自分たちの代表を議会に送る権利を求めました。この対立から1776年に独立宣言が発せられ、自由と平等を掲げて戦いが始まりました。
問19	答え 農業生産性	農業生産性とは、農民が単位面積や一人当たりの労働力でどれだけの作物を生産できるかという効率の指標です。江戸時代には、千歯こきなどの農具や干鰯（ほしか）などの肥料が普及し、二毛作も一般化しました。その結果、限られた土地から多くの米や作物が収穫できるようになり、日本の人口は大きく増加しました。